

あけましておめでとうございます。

2017年の新しい年にあたり、謹んでお慶び申し上げます。

さて、日本を取り巻く国際情勢が大きく変化する中で、我が国では政治の質が厳しく問われています。世田谷区では今後、増加する福祉需要と財政負担とのバランスを維持するため行政サービスの一部を民間と共に推進する官民連携を着実に進めていく必要があります。特に、区立図書館、保育園、児童館など民営化を推進していくべきと考えています。

さらに今年は、2人に1人は罹患すると言われる「がん対策」に全力を注いでいきます。本年結党53年を迎える公明党は、「生命・生活・生存を最大に尊重する人間主義」の理念のもと、どこまでも「人」に焦点を当ててまいります。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

福祉先進都市世田谷の構築のため
7つのゼロを目指します!!

介護離職ゼロ	介護家族及び介護従事者へのさらなる支援の実現へ。
保育待機児ゼロ	認可外保育園利用者への負担軽減の充実へ。
孤立・孤独ゼロ	高齢者見守りネットワークなど在宅生活の更なる支援の充実へ。
がんゼロ	土・日・夜間検診の開設、相談体制、在宅療養の充実へ。
不登校ゼロ	幼児教育センター機能の展開、発達障害支援の総合対策へ。
薬物ゼロ	支援団体との連携による啓発教育の実践へ。
虐待ゼロ	児童相談所の移管を契機に一貫した体制の実現へ。

2016年12月15日。保坂世田谷区長へ申し入れいたしました。

- ◆ 世田谷区本庁舎整備への取り組み
・災害対策を最優先に、仮設庁舎利用により工期・コストの短縮を。
- ◆ 民間活用の拡充
・区立図書館、児童館運営の民間活用を促進へ。
- ◆ 観光と産業振興の取り組み
・東京2020大会へ、官民連携で観光政策の充実と観光協会の設立を。
・建設業の世田谷区の産業（商業・工業・農業）に明確な位置づけを。

高橋あきひこ

幹事長
福祉保健常任委員長

佐藤ひろと

政調会長
世田谷区・農業委員

諸星よういち

区議会・副議長
文教常任委員

いたいひとし

副幹事長
都市整備常任委員

平塚けいじ

世田谷区・監査委員
区民生活常任委員

たかく則男

副政調会長
福祉保健常任委員

岡本のぶ子

副幹事長
区民生活常任委員長

福田たえみ

文教常任副委員長



津上ひとし

副政調会長
災害・防犯・オウム問題
対策等特別委員長

河村みどり

企画総務常任委員



がん撲滅へ向けて全力を尽くします!

2015年4月に「がん対策条例」を制定

わが党の推進により、条例が実現しました!

さらなるがん対策推進のため、

裏面のアンケートにご協力をお願いいたします。

がん対策推進条例について
国民の2人に1人が、がんになる時代をふまえて

世田谷区がん対策推進条例とは

基本的な考え方

区は、区民・保健医療福祉関係者・事業者と一体となってがん対策のより一層の充実を図り、「がんを知り、がんと上手に向き合い、がんになっても自分らしく暮らせる地域社会」の実現を目指します。

具体的な取り組み

- がんについての理解（病気の理解）
- がんの早期発見（検診）
- がんの予防（望ましい生活習慣）
- がん患者や家族等への支援（患者等への理解）

がん対策推進条例の主な内容

- 区の責務及び区民・保健医療福祉関係者・事業者の役割を明確にし、総合的ながん対策の推進を図ります。
- 区の推し進める取り組みの中心となる4つの柱を示します。
- 具体的な施策の実現に向けてがん対策推進計画を策定します。
- 区民・保健医療福祉関係者・学識経験者等で構成する「世田谷区がん対策推進委員会」を設置し、がん対策全般について検討します。

裏面のアンケートは、専用のホームページからもお答えいただけます。

スマートフォンはQRコードをご利用ください。

コチラから→

<https://vlc.post-survey.com/komeitosetagaya>

※なお、アンケートの集計結果はホームページにて公開いたします。

